

心血管疾患ロジックモデル評価指標の状況、分析・考察 (R8.2)

Table with columns: 県計画における該当項目, 番号, C 初期アウトカム, C 初期アウトカム指標, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 1 and 2 regarding basic disease management and specific health guidance.

Table with columns: 番号, B 中間アウトカム, B 中間アウトカム指標, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 1 and 2 regarding prevention of cardiovascular diseases.

Table with columns: 番号, A 分野アウトカム, A 分野アウトカム指標, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include item 1 regarding cardiovascular disease mortality.

※(1)、(2)、(4)～(7)の目標値については、健康みやざき行動計画21(第3次)「計画期間：R6～17」の目標値を引用
(数値が確認できる指標では)改善傾向にあるも目標値には達しておらず、引き続きの普及啓発等一次予防に向けた取組が必要。中間アウトカムである受療率の評価については、外来の減少が入院の増加に繋がっている可能性もある。健康意識の高い層と未受診のハイリスク層との「二極化」が懸念される中、単なる数値の改善に留まらず、全国平均と比較し実効性のある一次予防を推進する必要がある。【県の取組：普及啓発、健康教育、県民公開講座等イベントの実施、食環境の整備、健診受診勧奨等】

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 3 and 4 regarding emergency response and ambulance utilization.

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 1 and 2 regarding emergency response and ambulance utilization.

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items (45) and (46) regarding cardiovascular disease mortality.

一般市民による除細動の実績や救急救命士の運用率は向上しており、救急現場の対応力は強化されている。一方で、医療機関への収容時間が短縮していない点は極めて重要であり、救急隊が「最も適切な医療機関」を迅速に選択できているか、循環器救急疾患に特化した検証が必要である。救急搬送の増加、高齢化による現場確認の長期化や軽症利用の増加に加え、疾病分類別に見て「心疾患等」は増加傾向にある。【県の取組：#8000の設置、適正受診の普及啓発、医療従事者養成の支援等】

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 5, 6, and 7 regarding acute care and rehabilitation services.

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 3 and 4 regarding acute and recovery care services.

循環器内科医師数が増加し、リハビリ実施施設も拡充されるなど、急性期から回復期への接続体制は強化されているが、一方で心臓血管外科医の減少やCCU設置病院の停滞もみられる。外科手術件数やリハビリ、在院日数の短縮(指標35～38)については良い傾向にあり、限られた外科資源を内科・リハビリ職との連携で補完する効率的な医療提供が実現されつつある。【県の取組：遠隔診療支援システム活用支援、12誘導心電図伝送システム導入支援、医療機関施設・設備整備支援、医師確保・養成等】

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 8, 9, and 10 regarding rehabilitation and recovery services.

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 4 and 5 regarding recovery and maintenance services.

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include item (47) regarding healthy life expectancy.

「延伸」とは、平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加とする

急性期医療からリハビリ、そして緩和ケアまでの一貫した提供体制が充実してきたと考えられる。緩和ケア実施件数の大幅な増加は、患者のQOL向上だけでなく、結果として在院日数の短縮にも寄与していると考えられるか。【県の取組：看護師の教育課程への派遣補助、口腔ケア相談の窓口設置、専門職研修等】

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 11, 12, 13, and 14 regarding rehabilitation and maintenance services.

Table with columns: 番号, 内容, R5 策定時 目標値, R6 進捗状況, R7 進捗状況, 改善or悪化. Rows include items 5 and 6 regarding maintenance and support services.

*は人口10万人対換算(※R5策定時はR2国勢調査人口、R7進捗状況はR7.10.1時点推計人口を用いて算出。(12)(13)(30)(31)(45)(46)は公表されている人口10万対の数値を記載)
在宅リハビリや訪問看護、薬剤管理指導の件数は伸びており、中間アウトカムとしては改善がみられる。しかし、その背景として訪問診療体制の整備は未だ不十分であり、一部の医療機関に負担が集中している「偏在化」の懸念がある。詳細なデータを収集し、地域的な空白地帯がないか確認が必要。【県の取組：入院調整ルールの運用、多職種研修、専門職の派遣、講座等の実施、就労支援等】

R5策定時と比較して、改善
R5策定時と比較して、悪化
R5策定時と比較して、現状維持